

鉄道ピクトリアル

2022年7月号 Vol.72 No.7 通巻No.1000

〈特集〉鉄道150年と東海道線

■表 紙 C62 41[宮]牽引の特急「つばめ」 星 晃

大阪 1956-7-28

■グラフ

大いなる時を越えて（1～8ページ）

高松吉太郎・星 晃・長谷川智紀・田中 邦・太田正行
山口大助・和田洋一・黒岩保美・沢柳健一・浜村正弘
静 拓志・下嶋一浩・富村哲男・大野秀一・萩原詳雄
有原和彦・関 周一・相田俊幸

明治の香り（94～97ページ） 森田 宏・田邊洋夫ほか

*

東海道線を彩った機関車たち

..... 写真：高松吉太郎・辻坂昭浩ほか 41

110号機関車の来歴と疑問 高見 彰彦 54

東海道本線普通列車の運転時刻表 太田 正行 58

6大都市内着の裏面地図入り乗車券 長谷川優一 63

JR神戸駅の今 山口 徹・末石和寛 98

*

Pictorial Color Gallery 汐留界隈 鈴木 正敏 89

近畿日本鉄道19200系観光特急「あをによし」/東急電

鉄東急グループ100周年トレイン／東武鉄道C11 123の 100～103

試運転を公開／神戸電鉄デ101お披露目会を開催ほか

トピック・フォト（各地・関東・中部・関西） 104

相鉄の「鉄道コンセプト」ルームを見る 大里 信之 112

いまなお現役 函館の古豪 阿部 義博 114

連載・昭和の鉄景（第67回） 椎橋 俊之 116

■本文

今月の話題：鉄道150年と東海道線 編集部 9

車両展示会と鉄道150年 岩成 政和 10

東海道本線を走った長距離普通列車ものがたり

..... 寺本 光照 24

戦前黄金時代の東海道線 三宅 俊彦 35

東海道本線「こだま」形電車の全盛期 佐藤 博 64

「鉄道と郵便」今昔ものがたり 白土 貞夫 75

【創刊1000号記念企画】

鉄道趣味の今昔・変容と鉄道ピクトリアル1000号のあゆみ

..... 山田 亮 118

「鉄道現場その時」を伝えた読者の便り

—半世紀前の読者短信とトピックフォトから— 岩成 政和 126

1000号記念企画 編集長インタビュー

「鉄道ピクトリアル」通巻1000号を振り返って〔II〕

..... 聞き手・構成：和田 洋 141

JR東日本115系と205系500・600番代の終焉 日向 旭 86

鉄道の話題 編集部 88

書評(688)『国鉄沼津機関区の百年—1886.12.1～1987.2.28』 三木 理史 151

鉄道技術との60年[9]—鉄道発展のための遺言(2) 主として制度面から—

..... 曽根 悟 152

形式解説 JR西日本キハ120形(中編) 西脇 浩二 156

東京都交通局6500形 前山 泰智 164

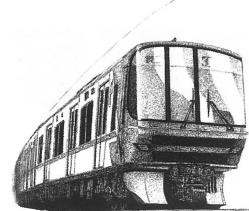
4月のメモ帳 171

読者短信・情報ファイル 172

後部車から 175

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

鉄道150年と東海道線

わが国の鉄道は1872(明治5)年新橋—横浜間の開業を起源とする。この区間は広く捉えれば現在の東海道線であるから、鉄道150年＝東海道線150年ということになるのである。いさかかじつけのような解釈ではあるが、鉄道150年はあまりに内容が広範囲に及び、本誌においてはこれまでたびたび通史や主要な話題を取り上げており、本号では150年を振り返る中で東海道線をめぐる興味を主題として構成した次第である。今回の特集では鉄道150年、東海道線とともに敢えて総論は置かず、双方のテーマに関連した鉄道興味をピックアップして、それらを論じて記録していただくという趣旨の内容で構成しており、基本的にそれぞれの記事でリンクする部分は少ないことをまずご了承いただきたい。以下、本号特集に関わる主要な発表について解題していきたい。

車両展示会と鉄道150年 かつて国鉄では時代に応じた技術を広く紹介する車両展示会をたびたび開催して一般にも公開した。こうした展示会などを時系列的に振り返ると、鉄道技術発展の歴史が見て取れる。

東海道本線を走った長距離普通列車 さまざまな用途で庶民の足として愛用された東海道線の長距離普通列車について、戦後の移り変わり。

「こだま」形電車の全盛期 東海道線における在来線輸送時代のハイライトである「こだま」をはじめとした電車特急の運転と車両の興味。

「鉄道と郵便」今昔 東京駅に隣接した中央郵便局を拠点に、全国に張りめぐらされた鉄道を主体とした郵便網と輸送の記録。

今月は通巻1000号の特別号であり、本欄も特別バージョンとした。特別企画として本誌1000号に関わるコーナーも設けており、あわせて読んでいただければ幸いである。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan